

かしま 議会だより

第111号

令和4年9月定例会号

令和4年11月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



観光列車『ふたつ星4047』が肥前浜駅に到着

9月定例会	P2～P3
議案審議	P4～P6
一般質問(13名)	P7～P13
討論	P14
決算審査特別委員会報告	P15
議会運営委員会視察報告	P16
文教厚生産業委員会活動報告	P17
意見書	P18
高校生との意見交換会	P19
議会あれこれ/議長交際費	P20



鹿島市のホームページもご覧ください。

鹿島市議会

検索

定例会

定例会

- 鹿島市議会
令和4年9月定例会 会期日程
- 1. 会期
自 令和4年9月2日
至 令和4年10月5日
- 2. 日程
- 【9月】
- 2日 開会
・会議録署名議員の指名
・会期の決定
・議案の一括上程
(市長の提案理由説明)
- 3日 休会
- 4日 休会
- 5日 休会(議案研究)
(一般質問発言内容通告締切)
- 6日 休会(議案研究)
- 7日 休会(議案研究)
- 8日 決算説明、委員会付託、
議案審議、
質疑、討論、採決
- 9日 議案審議、
質疑、討論、採決
- 10日 休会
- 11日 休会
- 12日 休会(議案研究)
- 13日 休会(議案研究)
- 14日 休会(議案研究)
- 15日 決算審査特別委員会
(開会、現地調査)
- 16日 決算審査特別委員会
(一般会計)
- 17日 休会
教育委員会・市民部、産業部ほか)
- 18日 休会
- 19日 休会
- 20日 休会(議案研究)
- 21日 決算審査特別委員会
(一般会計)
- 22日 決算審査特別委員会
(特別会計、公営企業会計、
討論、採決)
- 23日 休会
- 24日 休会
- 25日 休会
- 26日 休会(議案整理)
- 27日 一般質問(4名)
- 28日 一般質問(3名)
- 29日 一般質問(3名)
- 30日 一般質問(3名)
- 【10月】
- 1日 休会
- 2日 休会
- 3日 休会(議案整理)
- 4日 休会(議案整理)
- 5日 委員会報告、議案審議
・質疑、討論、採決
・閉会

- 鹿島市議会
令和4年9月定例会 会期日程
- 1. 会期
自 令和4年9月2日
至 令和4年10月5日
- 2. 日程
- 【9月】
- 2日 開会
・会議録署名議員の指名
・会期の決定
・議案の一括上程
(市長の提案理由説明)
- 3日 休会
- 4日 休会
- 5日 休会(議案研究)
(一般質問発言内容通告締切)
- 6日 休会(議案研究)
- 7日 休会(議案研究)
- 8日 決算説明、委員会付託、
議案審議、
質疑、討論、採決
- 9日 議案審議、
質疑、討論、採決
- 10日 休会
- 11日 休会
- 12日 休会(議案研究)
- 13日 休会(議案研究)
- 14日 休会(議案研究)
- 15日 決算審査特別委員会
(開会、現地調査)
- 16日 決算審査特別委員会
(一般会計)
- 17日 休会
教育委員会・市民部、産業部ほか)
- 18日 休会
- 19日 休会
- 20日 休会(議案研究)
- 21日 決算審査特別委員会
(一般会計)
- 22日 決算審査特別委員会
(特別会計、公営企業会計、
討論、採決)
- 23日 休会
- 24日 休会
- 25日 休会
- 26日 休会(議案整理)
- 27日 一般質問(4名)
- 28日 一般質問(3名)
- 29日 一般質問(3名)
- 30日 一般質問(3名)
- 【10月】
- 1日 休会
- 2日 休会
- 3日 休会(議案整理)
- 4日 休会(議案整理)
- 5日 委員会報告、議案審議
・質疑、討論、採決
・閉会

次のことを審議し決定しました

【令和4年9月定例会】

	西一郎	宮崎幸宏	笠継健吾	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	勝屋弘貞	伊東茂	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果
議案第38号	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 認定
議案第39号	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 認定
議案第40号	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 認定
議案第41号	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 認定
議案第42号	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 認定
議案第43号	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 認定
議案第44号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第45号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第46号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第47号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第48号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第49号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第50号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第51号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第52号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 同意
議案第53号	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 同意
議案第54号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	議長	賛成全員 可決
議案第56号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	議長	賛成全員 可決
議案第57号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	議長	賛成全員 可決
議案第58号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	議長	賛成全員 可決
諮問第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 適任
議員提案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
意見書第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 ※・・・監査委員のため審議に参加できない

議案審議

議案審議

議案第38号

令和3年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について（大綱質疑）



松田 義太 議員

■今後の財政運営について

質問 市債（借入金）の増加、各基金（貯金）の減少など厳しい財政状況

である。また、市内の公
共施設の老朽化は進んで
おり、今後計画的な維持
管理が必要。今後、担当
課はどのような財政運営
を考えているのか。

答弁 市債、各基金の状
況については、指摘の通
りであり、厳しい財政状
況と認識している。
また、市内公共施設の

議案第47号

子どもの医療費助成に関する条例について



松尾 征子 議員

■子どもの医療費完全無料化を

質問 0歳児の医療費無料化が実現し、五十年してやっと、一部負担は

あるとしても、すべての
子どもの医療費無料が実
現した。

入院千円、通院五百円
の一部負担金を取る要因
は何なのか。

答弁 一定の負担をして
もらうことは必要なこと。
自分で治せるのは抑制す
るということ。支払って
いるという意識をもって

いただくことが一番の要
因。

質問二 これまでも「少
しぐらいは払ってもらわ
なければ」との答弁が、
これでも返ってきた。千
円、五百円と言えども払
えない人もいる。一部負
担金はやめること。

議案第47号

子どもの医療費助成に関する条例について



中村 一堯 議員

■高校生等の医療費助成について

質問 高校生等（18歳以下の方が対象）の医療費助成で今年10月から医療

費・通院費が500円と
なる。対象者は800名
ほどということだが、市
外や県外の医療機関に行
っても500円で受診で
きるのか。

答弁 鹿島市に住民票を
おいて、県外の高校に行
かれていた方も結構いら
っしゃる。保険は県ごと
なので、県内の病院では

現物給付で出来る。

県外の病院に行ったと
きは、償還払いで市役所
に領収書を持ってきてい
ただきたい。

議案第48号

令和4年度鹿島市一般会計補正予算（第2号）について



徳村 博紀 議員

■マイナポイント申込支援業務について

質問 補正予算で440万円あがっているが、金額の根拠は。

また、ポイントの付与方法はどのようになっ
ているのか。

答弁 この金額は人数分
のポイントの原資という
ことではなく、事務経費
にかかる諸費用を積み上
げた金額である。

また、付与のポイント
としては、健康保険証の
紐付けで7500ポイン

ト、公金受取口座登録紐
付けで7500ポイント、
利用買い物で5000ポ
イント、最高で2000
0ポイントが付与される。
付与方法としては、み
なさんご持ちのカード
や電子マネー等多種多様
選べるようになっている。

議案第48号

令和4年度鹿島市一般会計補正予算（第2号）について



伊東 茂 議員

■保育所給食費等支援事業について

質問 ①物価高騰による子育て世帯の負担軽減のため給食を提供する保育

所、認定子ども園の食
費等の補助624万5千
円であるが、物価上昇率
の設定根拠と補助の期間
について。

②保育所等への事業内容
の説明と補助期間、終了
後の決算報告について。

答弁 ①学校給食用物資
売渡し価格、令和3年と
4年の平均上昇率を8%

防災サポーターズクラブ、
民生児童委員、連絡協
会、鹿島市連合青年団等
と連携し、食事の宅配、
非常時における備蓄品の
配布、フードバンク、子
ども食堂、子どもの居場
所づくり等、一体となっ
て支援強化を図る。

議案第48号

令和4年度鹿島市一般会計補正予算（第2号）について



勝屋 弘貞 議員

■生活困窮者自立支援の機能強化事業について

質問 自立支援について今までも努力されてきたと思うが、どのように新

しくなるのか。

答弁 相談支援について
は職員が集中できる環境
づくりを努める。

また、今までの行政サ
ービスに加え、民間団体
との連携を進めることが
重要と考え、市・社協・
民間団体で会議体を設置
する。予定としては食生
活改善推進協議会、鹿島

と設定されている。補助
期間はさかのぼり令和4
年4月から令和5年3月
までの期間とする。

②事業説明は県からアン
ケート調査が終了してお
り、9月議会終了後、市
からも説明を行う。まず
概算払を行い、年度終了
後、実績払を行う。

議案審議

一般質問に13人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信!

下記のQRコードを読み取っていただければ、9月27日、28日、29日、30日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【9月27日】



福井 正 議員
松尾 征子 議員

【9月27日】



杉原 元博 議員
笠継 健吾 議員

【9月28日】



中村 日出代 議員
樋口 作二 議員
池田 廣志 議員

【9月29日】



宮崎 幸宏 議員
西 一郎 議員
中村 和典 議員

【9月30日】



勝屋 弘貞 議員
松田 義太 議員
伊東 茂 議員

※議場では、新型コロナウイルス感染予防のためアクリル板を使用して質問、答弁をしています。

鹿島市の子ども家庭支援について
質問一 現状子供の貧困が問題となっている。子どもや家庭への鹿島市の支援策は。
答弁 出産一時金42万円支給している、出産費用

質問一 令和5年4月1日に、厚生労働省・内閣府・文部科学省の幼稚園を除く子どもに関する部署を統合したことも家庭庁が発足する。結婚妊娠子育ての結婚まで見守り続け支援する組織である。鹿島市の組織や人員予算に影響すると思うが、鹿島市の対応はどうか。
答弁 いずれ鹿島市でも改編が必要だと思うが、当面現在も各課の連携が取れており。現状で対応できている必要な時期が来たら改編することと思う。

質問一 困窮事業者・生活困窮者に対する給付金支援と貸付金がある、まもなく返済猶予期間が終わる返済不能の方への支援策は。
答弁 住民税非課税方への5万円給付がある。生活困窮者に対する給付金430件1億5千万貸し付けている。また事業者に対して天災等のやむを得ない事情で「償



子ども家庭庁発足に伴う鹿島市の対応について

福井 正 議員

が増加傾向にあり今後増額が必要になると思う。産後うつ・児童虐待等に切れ目のない支援をしている。保育所運営補助・放課後児童クラブ運営・障害者支援・ひとり親に対する相談員配置・教育委員会での経済的支援・要保護者支援・就学援助学

新型コロナウイルス感染症経済対策について

質問一 困窮事業者・生活困窮者に対する給付金支援と貸付金がある、まもなく返済猶予期間が終わる返済不能の方への支援策は。
答弁 住民税非課税方への5万円給付がある。生活困窮者に対する給付金430件1億5千万貸し付けている。また事業者に対して天災等のやむを得ない事情で「償

還が著しく困難」と認定された場合所定の手続きで返済の一時猶予や減免がある。
質問二 困窮者の支援が必要だと思うが、鹿島市単独では支援できないと思う。政府に対して支援を全国市長会などで要請できないか。
答弁(松尾市長) 新型コロナウイルス・インフレ等で困窮された方がおられることは理解している。国に対して佐賀県を通じた全国知事会などで、また近隣市町と連携して国に働き掛けたい。

議案第55号 新鹿島市民会館新築工事(建築主体)の請負契約変更について



福井 正 議員

質問一 新市民会館の建設は令和5年5月完成予定であるが、市民の皆さんが新市民会館を利用できるのはいつごろなのか。

答弁 5月完成から2、3ヶ月かかると思われるので、来年7月か8月に可能になると思われる。

質問二 完成記念式典等について、開催するのか。
答弁 記念式典などについては、まだ決めていない。

議案第55号 新鹿島市民会館新築工事(建築主体)の請負契約変更について



中村 日出代 議員

質問一 工期の延長の理由は何か。

答弁 令和3年8月豪雨により基礎工事中の表層部分が軟化したこと等による延長の理由で、発注者・受注者の責任では無いと判断し工期を延長した。

質問二 工事請負費について増額した理由は。
答弁 原材料・原油の高騰、労務単価の上昇による増となった。

質問三 今後の考え方は。
答弁 今回、工期の延長

と継続予算の増額をお願いしている。早急の完成と契約金額も抑えられるように協議していく。
意見 完成を待ち望んでいる方々を早く安心させるように工事を進めて頂きたい。

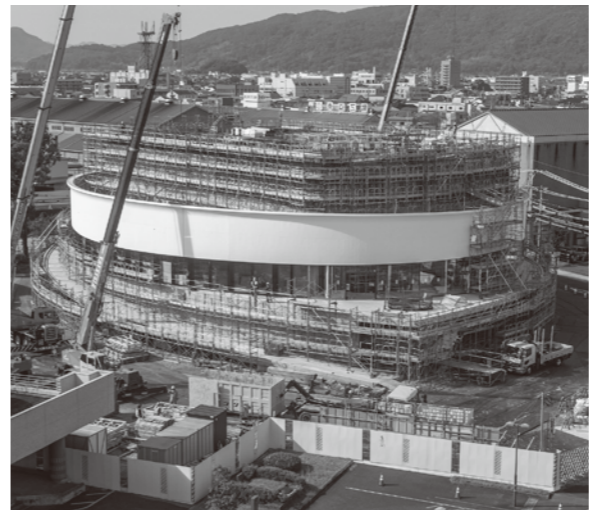
議案第55号 新鹿島市民会館新築工事(建築主体)の請負契約変更について



笠継 健吾 議員

質問 鹿島の活性化の観点から将来の四、五年間を展望した場合、現在みえるのは新市民会館建設、駅前広場の整備しかない。

本件オープニングイベントは、しっかりとアピールすることが大事と思うが計画はどうか。
答弁 落成式、オープニングイベントについては現在検討しているところである。市民の皆様にも喜んでもらえるようにしていきたい。



建設が進む新市民会館



松尾 征子 議員

補聴器購入助成を

質問一 高齢化が進み難聴者が増えている。耳が聞こえないことで外出の機会が少なくなり、社会との孤立が始まる。ストレス・睡眠不足などに進むと言われている。難聴が引き起こす認知症が心配だ。

補助の制度はさまざまである。佐賀県ではまだ。国・県各団体の動きをしっかり見て、今後対応していきたい。

防災無線設置について

質問一 各戸に防災無線が設置されて、災害時はもちろん、情報網として重宝している。

無線は市が各戸に設置し、新築の家にはその都度設置されていると思っていた。市内のある地域で、「地域の連絡をしたら新築の家数軒に伝わっていないかった」と言われた。伝わってなかった家では、どの家にも無線がついていなかったということであった。

無線は市民にとって必要なものだ。設置について改めて市民に徹底してもらいたい。



杉原 元博 議員

命と暮らしを守る「災害対策」について

質問一 線状降水帯の予測と警戒呼び掛けについてどう対応していくのか。

回答 線状降水帯予測は、今年6月より気象台から発表されている。的中率は約30%で、今後の中率を上げる努力と発表地域を県や市町村単位で出せるように努力していくと聞いている。避難指示又はその上の緊急安全確保などの情報発令の基準になつてくると考える。

質問二 河川の水位を確認できる危機管理型水位計の設置が進んだが、市の設置状況は。

回答 県設置の水位計が14箇所あり、6箇所に危機管理型水位計が設置されている。水位計の情報は県HP水防くんで見ることが出来る。

質問二 近年は大規模な土砂災害が多い。特に注意を要する土砂災害特別

利用が広がっている「通級指導」について

質問一 通級指導を利用している児童・生徒数を聞く。

回答 小学校116人(7.4%)、中学校38人(5.1%)が利用。

質問二 通級指導の利用頻度について伺う。

回答 1人あたり週に1時間(多くても2時間)程度を通級教室において授業を受ける。

質問三 適切な教育支援が広がっている一方、課題も多い。現状の課題について聞く。

回答 市町の教育委員会からの加配教員の増員に対する要望通りになっておらず、全ての学校に通級指導教室が設置出来ない。

質問四 今後も利用者が増え続け、ニーズも多様化すると思う。通級指導の更なる充実に向けての考えは。

回答 支援が必要な児童・生徒が今以上にいると感じている。必要な支援を受けられる環境を整える事が大切である。



笠継 健吾 議員

地域活性化の取り組みについて

新工業団地について
質問一 雇用の確保のため、新工業団地の計画、進捗状況はどうか。また現在の工業団地の状況はどうか。

回答 現在の工業団地は浜工業団地4社、大村方工業団地22社、谷田工業団地4社で分譲可能用地の残りはない。

新工業団地の取り組みは令和元年度に適地調査を実施し、検討を行っている。経済情勢の変化もあり事業費も大きく、財政等考えた取り組みが必要である。

意見 若者の転出は続いており、雇用の確保は重要課題である。

未婚晩婚化について

質問一 鹿島市の未婚晩婚化の状況はどうか。長

引く日本経済の低迷、雇用体系の変化も影響し、若者の結婚に影響している。

回答 未婚者数(令和2年国勢調査)40代男性1,616人の23.5%、女性1,710人の18.8%・50代男性1,741人の19%、女性1,807人の11%である。

質問二 鹿島市としても婚活の取り組みをすべきではないか。他の市町が取り組みをされ、多くの成婚者があつている。

回答 少子化対策の一環として、結婚支援は必要だと感じている。他の市町の事例も参考に十分研究していきたい。

市道上の被り木について

質問一 市道上の被り木について、鹿島市は緑も多く、市の対応はどうか。



谷田工場団地

ているか。他市が高所作業車や作業員を派遣し、地区と協力して対応しているところがある。

回答 民法233条により、原則として被り木の所有者に処分をお願いしている。他市の取り組みで、一部対応の違いもある。今後十分に研究していきたい。

意見 市道上の被り木は地区が困っている問題で、鹿島の景観を悪くしている問題でもある。早急に取り組めるようお願いしたい。



中村 日出代 議員

鹿島市農業委員会について

質問一 農業委員と農地利用最適化推進委員の主な役割、業務内容について。

回答 農業委員は合議体としての決定行為業務等。農地利用最適化推進委員は担い手への農地集積・集約の機運づくり、耕作放棄地の発生防止等である。

質問二 担い手への農地の集積・集約化についての説明を。

回答 農地集積は経営面積を増やすことで農家は大規模化し競争力が増す。農地集約は経営農地を一ヶ所に寄せる。

これにより圃場の移動に大きな労力と時間が不要となり経営の省力化・効率化が図れる。

意見 最近の傾向でトマト等の施設園芸をやりたい新規参入が多い。頑張るって貰いたい。

学校施設の維持管理の徹底について

質問一 浜小学校は令和元年に校舎2階の天井モルタル約80kgの落下事故が発生した。その後4年間大規模改修計画は無いが、いつになるのか。

回答 浜小学校の改修工事は、令和5年に設計し令和6年に工事着工を計画している。

浜小学校プール施設の安全について

質問一 昨年も浜小学校プールが滑って生徒がケガをする恐れがあるので対策を取って欲しいと要請していた。今年は昨年よりも滑る状態が悪くなっている。今後どのような改善を図るのか。

回答 高圧洗浄機、除藻剤を使用した対策を検討している。

意見 児童生徒等の安全対策は最重要課題。しっかりとした対応をお願いする。

交通弱者への支援について

質問一 高齢者は月に三力所通院している方々が多い。交通費の支援を検討できないか。

回答 高齢者福祉と連携し支援を検討する。

意見 免許証返納者の増化により移動困難者の支援が急務。対策の強化を。

質問二 保険健康課の買い物応援バス事業拡大が出来ないか。

回答 社会福祉協議会で実施している。地元協力があれば運用出来る。運用できれば高齢者の交通手段に繋がる。



有明海を取り巻く課題について

有明海特措法に基づく漁業者への救済

質問一 鹿島市議会で意見書を提出して求めた漁業者への救済が見送られたことを市当局はどう受け止めているか。

答弁 水産庁が佐賀県西南部五支所を訪問して出した結果ではあるが、支所ごとに過去の実績が違い、単年度の平均で考えるのには違和感がある。

質問二 鹿島市の中でも地区により違いがあり、平均での査定では納得できないが。

答弁 過去五年間の実績を調べてみると、鹿島・浜地区は平均を上回っているが、七浦地区は平均を下回っている。

質問三 農水省が個別保障の代わりに実施する有明海の再生に向けた支援策とはどんなものか。

答弁 海況や生物の調査を始め、アサリをはじめとする二枚貝増殖に向けた取り組みなどがある。

有明海の漁業文化財の継承

質問一 有明海には、かつての豊かな海の証拠の石アバナなどの跡が残っており、これらを文化財として残す必要があると思えるが市当局の考えは如何か。

答弁 棚ジブ、石アバナなどの有明海特有の伝統漁法は、鹿島市に残る貴重な資料として新市民会館での民俗資料展示などで紹介していきたい。しかし、海の中の建造物は再生しても文化財にはならず、漁業権などの絡みもあり再生策が難しい。

鹿島市ゼロカーボンシティ宣言と有明海

質問一 鹿島市ゼロカーボンシティ宣言に至った思いを有明海の保全と照らして市長に伺いたい。

答弁 かつて海苔漁をしていたころの海は、様々な魚介類が生息する豊かな海で、人も干潟とのかかわりが多かった。しかし次第に生き物が少なくなり、諫早湾干拓堤防閉め切りの後はさらに海況が悪化したように思える。このゼロカーボンシティ宣言は単に脱炭素をめざすだけではなく、鹿島の豊かな自然を取り戻し、未来の子どもたちに引き継ぎたいという思いを込めている。



DX社会に向けた鹿島市の未来の街づくり

鹿島市におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)

質問一 鹿島市のDX社会に向けた「デジタル田園都市国家構想」の実現について。

答弁 「デジタル田園都市国家構想」の実現のためには、ハード面、ソフト面でのデジタル基盤の整備や、それを扱うデジタルの人材の育成、または市民にデジタルへの理解を広げるための周知活動などが不可欠であり、そのためには行政だけではなくDX民間団体などノウハウのある所と連携・協力して取り組んでいく。

また、本構想の実現のための具体的な事業策定や事業の実装などを展開していく上で必要となる事業費(予算)の確保については、デジタル田園都

市国家構想推進交付金などをしっかり活用していきたい。

西九州新幹線開業に伴うツーリズム(観光事業)

質問一 「西九州新幹線」の開業効果を最大限に高めるための観光プロモーションである「佐賀・長崎ステイネーション」について。

答弁 「佐賀・長崎ステイネーション」は、新幹線開業を契機とし、JR九州と沿線地域(佐賀県と長崎県)が一体となって観光資源を磨き上げ、地域づくりに取り組み、新幹線沿線地域だけでなく、鹿島市を含むその周辺地域まで効果を波及させる目的で、10月から12月の期間、全国に西九州新幹線及び佐賀県、長崎県を紹介していく。鹿島市にお



安全で暮らしやすいまちづくりについて

皆が住みやすいと思う地域づくりを

質問一 長崎本線を走る特急電車が大幅に減便されたが、長崎本線と市民生活の関わりを調べたら、線路と道路が交差する高架式ガードは、低くて狭いまま92年間放置され、建設当時は低いガードでも支障が無かったと思われる。

現在、このガードでは救急車等の緊急自動車が通れず遠回りをしている。北鹿島・鹿島・浜地区に各2箇所、七浦地区に3箇所と全部で9箇所あり、さらにガード以外でも幹線市道の路幅が狭く、救急車等が通れない所が4箇所ある。救急車が通れないのは致命的な欠陥なので、七浦地区西塩屋のガードを改良したように緊急地方

道整備事業で、年次計画を立て、改修できないのか尋ねる。

答弁 市道の幅や高さの問題で、救急車等が通れない所があれば、遠回りするしかなく、整備は必要と思うが、それを解消するためには、用地費や通過列車への安全対策など、多額の工事費が考えられる。市単独での工事は難しいと思うので、国等と協議する。

質問二 幹線市道で、中央線、外側線、停止線が消え、大変危険なので、その対策を。

答弁 財政的な制約はあるが、予算を確保して、改善を図る。

質問三 小・中学校周辺のカラー舗装などの交通安全対策は。

答弁 警察や県・市道路管理者、区長会、校長会などで組織した連絡協議

会で、安全対策を講じている。

市の都市計画図で指定している場所に「中川児童公園」の整備を

質問一 鹿島市都市計画で、指定している場所に「中川児童公園」を整備し、市民図書館の事業と連携する考えは。

答弁 現在の市役所が中川公園の一部を削る形で建設され、不足する駐車場敷地を賄うため、中川児童公園建設予定地を駐車場として利用しており、中川児童公園を早期に整備する考えはないが、図書館側の意向を確認し、連携について考える。



市内循環バスの現状と今後について

質問一 市内循環バス運行の目的は。

答弁 交通弱者の移動手段を確保し、市内の主要拠点、交通結節点へのアクセス増やし利便性の向上を図る。現在24か所の停留所を一日6便運行している。

質問二 予算規模と利用者の推移について。

答弁 運行経費総額660万6400円。年間利用者数は平成23年1604人、令和3年5875人と増加傾向にある。

質問三 平成30年10月を最後に路線が見直されたいのはなぜか。

答弁 地元住民、公共交通事業者、行政などが連携し公共交通網構築に取り組んでいる。今年度は高津原乗り合いタクシー停留所の見直しを行っている。

質問四 今後の利便性向上と利用者増加に向けた取り組みにMaasプラットフォームのA1運行バスなど、オンデマンド交通を積極的に取り入れ利便性の向上を図るべきだと思いが、お考えをお伺いする。

答弁 大きな目標は公共交通計画にある。持続可能な公共交通の運営や利用促進を進めていきたい。またオンデマンド交通はデジタルを用いた取り組みのため高齢者にも苦手意識を払拭してもらう取り組みが必要。

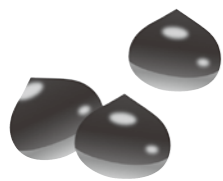
質問二 エネルギー交換効率が高いマイクログル発電などの小規模な発電設備の検討は行ったのか。

答弁 マイクログル発電はまだまだ設置コストが高く、まとまった発電量を確保したいなどの観点から、現時点においては太陽光発電を主軸に考えているがマイクログル発電の活用も今後考えていきたい。

ゼロカーボンシティへの取り組みについて

質問一 鹿島市がゼロカーボンシティを達成するためにどのような施策を行うのか。

答弁 再生可能エネルギーの利用促進、市民・事業者の活動促進など





中村 和典 議員 新型コロナウイルス禍、 物価高騰に喘ぐ農林水産業の 振興策と支援策について

質問一 肥料・飼料等の価格高騰に対する鹿島市の支援策について。

答弁 肥料価格高騰対策として、農家の負担軽減を図るため、国・県の補助残30%の2分の1総額3千万円を補助する。また、配合飼料価格高騰対策として、畜産農家が行う基金積立金の3分の1、トン当たり200円、総額2百万円を補助する。9月補正で可決済。

質問二 開設4年目となる鹿島トレーニンングファーム卒業生の進路について。

答弁 トマトの研修生8名が卒業し、鹿島市で就農した者は、2名である。

質問三 さが園芸888運動の進捗状況は。

答弁 4年間で、杵藤地区の園芸産出額263・7億円が249・8億円へ減少、鹿島市も59・3億円が54・5億円へ減少している。コロナ、災害、玉葱の暴落、物価高騰などによりかなり苦戦している。

質問四 人・農地プランの取り組み状況は。

答弁 令和2年度に71地区のアンケートを実施したが、1地区しか計画作成が出来ていない。令和6年度までには全て完了したい。

質問五 鹿島市園芸団地構想についての質問する。最近、近隣の嬉野市・武雄市・白石町・大町町・江北町においては最新の園芸団地が整備され、新規就農者が移住・定住し、稼げる農業にチャレンジし、素晴らしい成果を上げている。国や県も高率の補助事業で支援しており、今がチャンスと捉えるが市長の考えは。



松田 義太 議員 コロナ後を見据えた 経済対策について

質問一 令和2年4月に緊急事態宣言が発出されて以降、飲食業を始めバス・タクシー業、観光事業者を中心に厳しい状況が続いている。これまでに、国・県・市は様々な支援策を講じてきたが、鹿島市が取り組んできた経済対策の財政規模について伺いたい。

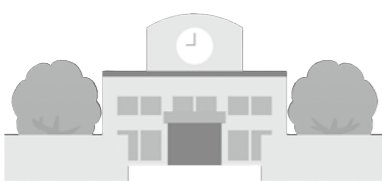
答弁 約7億6千万の対策を講じてきた。

質問二 佐賀県プレミアム商品券・クーポン発効券支援事業補助金等県の制度が活用できると思うが、担当課は検討されているのか。

答弁 この制度を活用して、祐徳門前商店街で10月6日より（祐徳門前お徳1ポン）を企画している。23店舗が参加予定である。

まで以上に観光PR・発信力が重要。担当課、観光協会に加え、観光事業に精通している、地域おこし協力隊、地域活性化企業人（企業から派遣される制度）検討をお願いしたい。

質問一 公立中学校の休日の部活動を地域に移行する改革が、2023年～2025年度までの3カ年を改革集中期間にされ、今後、部活動の地域移行が進められる。部活動は、学校教育において非常に重要な役割を果たしてきたと思われるので、慎重に進めてほしい。



勝屋 弘貞 議員 新市民会館の運営について

質問一 民俗資料館も併設され、自由に入出入り出来る施設になるということだが、運営の主体はどこになるのか。

答弁 「まちの晴れ舞台」として整備し、様々な文化芸術活動の発表や芸術鑑賞など、多様な市民交流の場を提供する」と第7次総合計画にあるが、これを効果的に実現するために、管理運営及び活用が極めて重要と考える。

質問二 まちづくりの核となりうる文化施設と思うが、市長の文化に対する考え方は。

答弁 納税額は約1億3900万円である。多良岳・経ヶ岳区域で活用した事業費は、約3億円である。

完成予定が5月末日に延期されたが、その後のスケジュールは、オープンングセレモニー等の企画は準備できているのか。

答弁 「まちの晴れ舞台」として整備し、様々な文化芸術活動の発表や芸術鑑賞など、多様な市民交流の場を提供する」と第7次総合計画にあるが、これを効果的に実現するために、管理運営及び活用が極めて重要と考える。

ずは直営でと考えている。完成後、備品搬入や試運転など約3か月程度の準備期間を経て、オープンする見込み。オープンングセレモニー、プレオープンといったものについては、市内の団体や市民の方の参加も含め検討中だ。

施設目的を効果的に実現できるような組織体制、人員配置についても同じである。

民俗資料館はこの施設の大きな魅力であり鹿島らしさに繋がると考えるし、ホールについても効果的な活用をするためにどのような人員の配置にするのか、まさに協議中のところだ。



伊東 茂 議員 鹿島市基幹産業（第一次産業）の 振興と支援策について

質問一 地域農林漁業は持続的発展が推進されているか疑問に感じる。

答弁 これから教育委員会を始め関係者により協議を進めていく。

質問二 西部中、東部中の部活において、部員不足により合同チームが編成されると聞いている。担当課には、今後、現場の声を大切しながら、細やかな対応してほしい。（学校の送迎等）

答弁 現場の状況を確認しながら、それぞれの課題に対応していききたい。

うまる・シャインマスカット等）をJAと協力し推進する。

漁場環境改善として本市で出来ることは積極的に行い、浚渫・海底耕耘は県・国への要望を強め、鹿島沖の潮の流れが滞る原因調査、対策を国への要望活動に加える。

イベント時のトイレ不足の対応策として消防車庫裏の公衆トイレ水洗・美化を要望する。

質問二 重伝建地区の公共施設の外観を街並みに合わせることは基本的に合意と考える。

整備の優先順位の問題なので「肥前浜宿まちづくり協議会」・「歴史的景観審議会」に議題として諮る。

公衆トイレについては老朽化もあり、撤去を考えていたが消防車庫にトイレが設置されてなく現状のままである。今後検討する。

【決算審査特別委員会委員長報告】

本会議において本委員会に付託された議案第38号から議案第43号までの6議案につきまして、9月15日、16日、21日、22日の4日間にわたり委員会を開催した。

まず、15日に以下の議案関係6カ所の現地調査を行った。

- ①明倫小学校放課後児童クラブ新築工事
- ②明倫小学校大規模改造2期工事
- ③市道中川内・広平線道路兼用護岸災害復旧工事
- ④市民会館新築工事
- ⑤鹿島城赤門続塀保存修理工事
- ⑥企業等農業参入支援事業(トゥルーバーファーム佐賀(株))

市長以下、執行部の出席のもと、審査に入った。

一般会計は、歳入179億9151万8492円、歳出は175億5934万9404円、差し引き4億3216万9088円の黒字決算。

国民健康保険特別会計は、歳入決算額38億5192万8932円、歳出決算額36億9476万1263円であり、1億5716万7669円の黒字決算。

後期高齢者医療特別会計は、歳入決算額4億2998万6613円、歳出決算額4億2721万2372円で、収支差引き277万4241円の黒字決算。

水道事業会計決算は、収益的収入5億4399万5807円、収益的支出4億4591万3984円、差し引き純利益は9808万1823円。

下水道事業会計決算は、総収入10億5349万4891円、総費用10億1008万8751円、差し引き4340万6140円。

監査委員から6議案に係る決算審査の結果について説明。

「審査に付された歳入歳出決算及び同附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、係数についても関係諸帳簿及び証拠書類と照合の結果、適正に表示されていた。また、予算の執行については、歳入の確保と歳出予算の効率的な執行に配慮しながら各種の施策が推進されており、各会計とも予算計上の趣旨に沿って適正に処理されていた」と報告を受けた。

説明後直ちに審査に入り、本委員会に付託された6議案に対し、各委員会からの多項目にわたる質疑があり22日の質疑終了後に討論、採決の結果、賛成多数で原案の通り認定することとした。

決算審査特別委員会 委員長 中村一堯

【決算審査特別委員会の経過】

9月15日 午前10時開会

主要施策の成果説明書の概要説明、決算審査等の概要説明、現地調査箇所の事業概要説明。午後より現地調査6カ所。

9月16日 午前10時より終日

一般会計歳入歳出決算認定について質疑(教育委員会、市民部、産業部ほか)

9月21日 午前10時より終日

一般会計歳入歳出決算認定について質疑(総務部ほか、建設環境部)

9月22日 午前10時より終日

特別会計3議案、公営企業会計2議案質疑後、議案第38号から議案第43号までの一括討論、採決。



賛成討論

令和3年度 鹿島市一般会計決算認定について

福井 正 議員

令和3年度議案第38号から43号までの6議案に賛成であるが、議案第38号一般会計決算について討論する。

令和3年度の歳入179億9051万7千円、歳出175億5934万7千円で、差し引き4億3216万9千円黒字決算だった。

主要事業として、新鹿島市民会館建設、明倫小学校大規模改造工事を行うことで、それまでのオープン教室から壁を設けることで冷暖房の効率上がる。明倫小学校校庭に建設された児童保育施設は、不足していた児童保育施設整備となった。

新型コロナウイルス感染症対策として経済対策に取り組み、市民生活への支援策となった。

よって、第38号から43号までのすべての議案に賛成する。

反対討論

令和3年度 鹿島市一般会計決算認定について

松尾 征子 議員

後期高齢者医療制度は国民を年齢で区切り、高齢者を別の医療保険へ強制的に囲い込むという、まさに負担増と差別医療を押し付けるもの。

制度が始まってから6回の保険税値上げ。税は強制的に年金から引き落とされる人が多く、残ったわずかな年金で苦しい生活をしている人は多い。

税は確実に引かれても、病院代がないため、病院にかかれぬ人もいる。絶対あつてはならないこと。元の老人保険制度に戻すこと。それができなければ保険税を引き下げることを。

3年度においても全く検討されず、老人を不安に追い込み、苦しませた。反対する。



10月23日(日)、3年ぶりに開催された「秋の蔵々まつり」。

旅行などの規制も緩和され、酒蔵通りには久しぶりの活気が戻ってきた。

西九州新幹線も開業し、今後の観光の活性化に期待が高まる。

【文教厚生産業委員会活動報告】

～鹿島商工会議所青年部との意見交換会～

令和4年7月8日、鹿島市の商工業進展のため、鹿島商工会議所青年部との意見交換会を行ったのでその要約を報告する。



最初に山崎会長の挨拶があり、鹿島市へ政策提言したいとの意向を示された。

- 【商：山崎会長】若い人の就職先がなく県外に出る人が多いので、企業誘致してもらえば高卒、大卒の人も仕事に就けると思うが、鹿島市は企業誘致しているのか。
- 【商：溝上直前会長】何か事業をしようと思うときに、どういう補助金があるのか知らないし、市役所のどこに聞けばいいのかわからないので、補助金の種類等をHPに掲載してほしい。
- 【商：中島副会長】人材確保が難しい。他でマッチングアプリやサイト等を見たことあるが、鹿島市にはあるのか、また予定はあるのか。
- 【商：中島副会長】ハローワークに出しても求職がない。マッチングアプリなど選択肢が増えたらいいと思う。休み明けに来なくなる例もあり興味を抱いてもらう指導が難しい。
- 【商：池田委員長】鹿島の良さはたくさんあるのもっと発信した方が良い。インスタグラムの写真はイメージが分かりやすい。また、国はデジタル庁ができていて鹿島市もそういうことを考えているのか。
- 【商：古賀副委員長】鹿島は自然が一杯で魅力的だが宿泊する施設がない。ツアーで回るだけでなく宿泊して体験してもらおうツアーがあればいいと思う。
- 【商：家永副委員長】鹿島の魅力を感じてもらうために体験できる場所があればいいと思う。例えば酒蔵での酒造りや、干潟のむっかけ、農家体験など。体験は足を運ばないとできないからそれで人を呼べるように。
- 【商：中村一堯委員】入ったばかりだが、若い人たちは鹿島市がもっと良くなるように考えている。大宰府天満宮の話聞いて、祐徳稲荷神社に行った後、次に何処へ行くのか考えさせられた。

以上のような質問に対し、鹿島市で行っている事業について丁寧に説明し、市政へ関心が向くよう依頼した。また若者向けのデジタル化等への提言には、鹿島市としても努力していく意向を伝え、コロナ禍での開催のため短時間で終了した。

参加者

※鹿島商工会議所青年部

山崎和良会長、溝上祐介直前会長、中島健副会長、富永昂志委員長、池田哲哉委員長、古賀将臣副委員長、家永俊弘副委員長、中村一堯市議

※文教厚生産業委員会

樋口作二委員長、徳村博紀副委員長、西一郎委員、笠継健吾委員、池田廣志委員、伊東茂委員、松尾征子委員、松田義太委員

【議会運営委員会行政視察報告】

●日程

令和4年6月29日(水)～7月1日(金)

委員長：伊東茂 副委員長：中村一堯

委員：徳村博紀、中村和典、樋口作二、杉原元博

オブザーバー：松田義太副議長

埼玉県吉川市議会 人口約73,000人 議員定数20人

●高校生議会等の取り組み

議会を身近に感じてほしい、開かれた議会を目指す、政治への関心を高めたい、そのために若い世代の力を借りようという思いと高校による主権者教育の取り組みが一致して高校生議会が開催された。

模擬議会では駅から学校周辺の整備について多くの質問がなされた。

2015年選挙管理委員会事務の協働体験・模擬選挙、2017年～2019年は高校生模擬議会、その後は新型コロナウイルスの影響で中止している。



茨城県牛久市議会 人口約84,000人 議員定数22人

●高校生議会等の取り組み

平成5年より子ども議会、中学生議会、シルバー議会、女性議会、市民議会などを24回開催している。平成28年から選挙権が18歳に引き下げとなったことから、政治や選挙に関心を持ってもらうために平成29年に高校生議会が開催された。

市内4校から3名ずつ参加し、一般質問形式で行われており、質問事項の通告書により答弁は市執行部が行う。今後は小学生議会、中学生議会、高校生議事を輪番制で開催予定。



神奈川県川崎市 人口約154万人 議員定数60人

●高校生議会等の取り組み

市内高校生の「これからも住み続けたいまち・川崎の未来のために」をテーマに市の理想像について調査研究し、議会への理解を深め関心を高める目的で高校生議会が開催される。

参加者は市立高校5校から各学校6～7名を選出。5つの委員会にわかれ、議会議員と意見交換する。その後議場にて「選挙の仕組み・意義」の講義後、議場にて各委員会からの提言の採択。

提言内容は「ユニバーサルデザインの普及」「地域の魅力の発信の仕方」「美しく、アートに溢れた町、川崎を目指して」など、高校生らしい素晴らしい提言であった。



高校生との意見交換会を開催しました

令和4年8月19日に鹿島市議会全員協議会室において鹿島高校2年生16名との意見交換会を開催しました。

高校生が在学中に主権者や成人となることを受け、議会の仕組みや議員の活動、議員の果たす役割などについて関心を持ってもらうために、今回初めて開催したものです。

最初に生徒から、日頃探究学習として取り組んでいる7つのテーマ「鹿島市を活性化させよう」、「一人暮らしの高齢者が住みやすい街づくり」、「鹿島のプラごみをつかおう」、「AIで鹿島市に農業革命を」、「外国人労働者雇用状況について」、「ドローンで繋ぐ地域経済」、「地域の特産物を活かしたお店を提案しよう」について課題や解決提案を発表してもらい、テーマごとに意見交換を行いました。

その後、鹿島市の魅力や課題について自由討議を行い、最後は、議場において生徒たちと記念撮影を行いました。



【意見書】

意見書第2号

燃料、肥料、飼料等の価格高騰対策の強化を求める意見書(案)

食料や資源の多くを海外に依存するわが国では、諸外国の輸出規制、緊迫化する世界情勢のあおりを受け、農畜産物の生産に必要な燃油、肥料、飼料価格のほか、被覆資材などの生産資材、ハウスや共同利用施設の建設費等も高騰し、その結果、当市の農業振興にも多大な影響を与えている。

さらには、コロナ禍の影響も重なる中、このままでは、安定的な農業経営や、食料供給を支える農業生産の維持が危惧される場所である。

よって国においては、生産者が今直面しているコスト高を乗り越え、将来にわたり農業生産を継続できるよう、下記事項について実施されることを強く要望する。

記

- 1 施設園芸等の燃油価格高騰対策について、事業の継続を行うとともに、さらなる運用改善・支援拡充を図ること。
- 2 肥料価格高騰セーフティネット構築にあたり、多くの農業者を漏らすことなく、かつ、速やかな支援を可能とする制度設計を行うこと。
- 3 配合飼料価格が高値で推移する中、配合飼料価格安定制度の安定的な運用に向け、十分な財源確保を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年10月5日

佐賀県 鹿島市議会

衆議院議長	細 田 博 之	様
参議院議長	尾 辻 秀 久	様
内閣総理大臣	岸 田 文 雄	様
財務大臣	鈴 木 俊 一	様
農林水産大臣	野 村 哲 郎	様
内閣官房長官	松 野 博 一	様

議会あれこれ (令和4年7月～9月)

7月

- 1日 議会運営委員会行政視察 (6月29日～)
- 7日 議会だより編集会議
- 8日 商工会議所青年部との意見交換会
(文教厚生産業委員会)
- 11日 議会だより編集会議
- 12日 議会運営委員会
- 13日 執行部との意見交換会 (議会運営委員会)
- 22日 西部広域環境組合7月臨時会
- 28日 臨時議会運営委員会

8月

- 3日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 17日 議会運営委員会
- 19日 高校生との意見交換会
- 23日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 24日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 25日 衛生施設組合8月定例会
杵藤地区広域市町村圏組合8月定例会
- 31日 議会運営委員会

9月

- 2日 9月定例会 開会 議案の上程 (～10月5日)
全員協議会
総務建設環境委員協議会
- 8日 9月定例会 議案審議
質疑、討論、採決 (～9日)
- 13日 文教厚生産業委員協議会
- 15日 決算審査特別委員会 (現地調査)
- 16日 決算審査特別委員会 (一般会計)
- 21日 決算審査特別委員会 (一般会計)
- 22日 決算審査特別委員会 (特別会計、公営企業会計)
- 27日 9月定例会 一般質問 (～30日)
- 28日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 29日 議会運営委員会
- 30日 全員協議会

行政視察受入状況 (令和4年7月～9月)

7月21日 愛知県春日井市議会 9名

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	7月		8月		9月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	1	8,000	1	8,000
会費	1	5,000	0	0	0	0	1	5,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	5,000	0	0	1	8,000	2	13,000



編集後記

行業の秋・食欲の秋・読書の秋・スポーツの秋などと言われ、秋は魅力満載で気候的に過ごしやすい季節です。しかし、朝晩はかなり冷え込んできますので、体調を崩さないように気を付けていきたいと思います。

去る9月23日に西九州新幹線が開業し、武雄温泉駅～長崎駅間 およそ66kmが結ばれました。前日の22日は多くの方が、46年間ありがとうの花火が打ちあがる中、特急「かもめ」のラストランを見に行かれたのではないのでしょうか。新特急「かささぎ」の出発式では、長崎本線沿線地域の魅力満載フェスが開催され、鹿島市・江北町・白石町・太良町の魅力を一挙に味わいました。当日は駅周辺でグリーンスローモビリティが運行され、更に踊りやバンド演奏など盛りだくさんのステージイベントがあり大変に賑わいました。

特急の本数は大幅に減便となり、私たちを取り巻く環境は変化していきますが、ピンチをチャンスと捉えて、魅力あふれる郷土鹿島に誇りを持って、前向きに取り組んでいきたいと思っております。これからも多くの皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

令和4年度かしま議会だより編集委員会

委員長 杉原 元博
副委員長 福井 正
委員 西 一郎
委員 宮崎 幸宏
委員 笠継 健吾
顧問 松田 義太

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。